

中学校長会会長賞

言葉の力

堺市立 浜寺南中学校 三年

田 中 咲 妃

私は中学二年生のときに、部活動でうまくいかない時期がありました。中学一年生のときは、先輩と一緒に公式戦にも出たりしていて自信もありました。でも、二年生になってからはなかなか思うようにプレーができず、だんだん試合に出る回数も減っていききました。そんなある日、試合でうまくいかず、私は泣いてしまいました。私が泣いている姿を見て先生は「泣いて上手くなれるならいくらでも泣け」と私に言いました。私はその言葉を聞いて、泣いているだけじゃなにも変わらない、もっと努力しないとけない、と思いました。それからの練習では、一つ一つの練習に全力で取り組むという意識を持ち、苦手なことも少しでもよくなるように練習してきました。すると、いつものスタメンの選手が休んでいた日の試合で、私がスタメンに選ばれました。私はとても嬉しかったです。それと同時に、うまくいかないときにいつも泣いていた私に先生がかけてくれた言葉の重さを感じました。言葉というものは、誰かが変わるきっかけにもなるのです。

テレビをつけると毎日様々なニュースが流れてきます。あおり

運転やストーカー殺人、虐待事件など色々とあります。幸いにもまだ身近では経験していませんが、いつ誰が、加害者、被害者になってもおかしくないと思うときもあります。悪い事と分かっているながら、その時の状況にたえられず犯罪を起こしてしまう人もいます。

私は、この作文をきっかけに、そういう人たちの中には、更生しようとしている人がいること、そして、その人たちを支える「社会を明るくする運動」というものがあることを知りました。「社会を明るくする運動」とはどのようなものをイメージするために、ユーチューブの動画を見ました。動画の内容は、高校生でたばこを吸ってしまった人が警察に見つかり、そんな自分に悩みながらも、保護司さんのもとに行き、仕事を頑張るといった内容でした。

私は、人間が変わることは、とても難しいことだと思います。でも、更生しようとしている人を支えてくれる人がいることで、少しは難しくなると思います。

例えば、更生しようと仕事を頑張っているも悩むことがあるかもしれません。そんな時に保護司さんに相談し、かけてもらった言葉をきっかけに変わることもあると思います。こうして、一人が変われなくても、少しずつ変わろうとする気持ちやそれを行動に移す人が増えると、これからの社会は、今よりもっとよりよいものになると私は思います。

言葉は主に、自分の気持ちなどを伝えるものです。でもときには、誰かが変わるきっかけにもなることに私は気付きました。そして、私は、誰かが変わるきっかけになるような、言葉をかけられるような人になりたいです。

